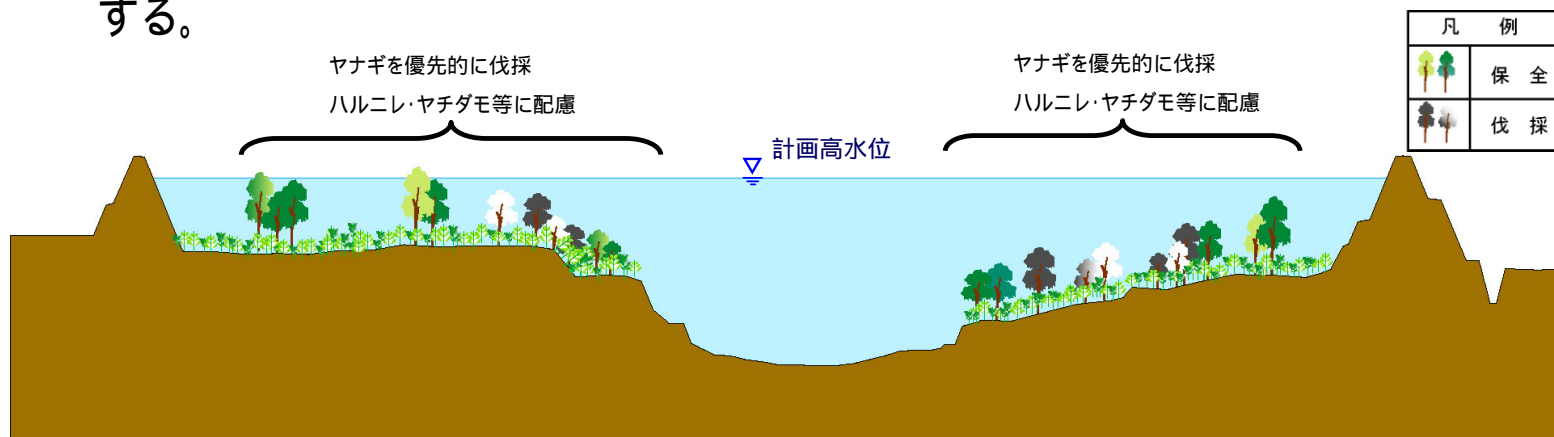


## 目標

洪水の安全な流下に支障を及ぼさないよう治水面との整合を図りつつ、過去に多く自生していたハルニレ・ヤチダモ等に配慮した多様性のある河畔林の管理。

## 具体の取り組み

- ・樹木の管理にあたり、ヤナギを優先的に伐採し、ハルニレ・ヤチダモ等を治水面に支障がない範囲で残すなどの、樹種を含めた河道内樹木の管理を行う。
- ・河道の掘削等にあたっては、水際の冠水頻度を高めるような掘削を行うことにより、多様性のある河岸の形成に努める。
- ・高水敷の広い区間等では治水面に支障のない範囲で低水路の変動を許容する。



河道内樹木の管理イメージ図